

## 言語活動を通じた思考力・判断力・表現力の育成

### —共通教科「家庭」における授業実践Ⅱ—

愛知県立一宮工業高等学校 林 康子

#### 1 はじめに

本校は、一宮市東部に位置しており、1 学年機械科 2 クラス、電気科 2 クラス、建築科 1 クラス、土木科 1 クラスからなる工業高校である。昭和 38 年、地域産業の発展のために創立され、来年には創立 50 周年を迎える。男女比は、女子が現在 1 %未満と男子が圧倒的な割合を占めている。本校の教育目標は、心身ともに健康で、豊かな教養と人間性をもち、調和のとれた有能な工業人を育成することである。そのために生徒の進路希望や興味・関心に応じたコースが設けられており、それぞれのコースで学んだ後、生徒は自分に合った職業に就職したり、希望の大学へ進学したりしている。また各科では充実した施設・設備を備え、きめ細かな指導で、高度な知識や技術を習得させている。各種の資格取得にも大きな力を注ぎ、競技大会や、ものづくりコンテストなどでも優秀な成績を残している。様々な行事や講習会など地域との連携も盛んに行われている。部活動も盛んで、運動・文化の各部で成果を上げている。

本校では、教科「家庭科」は科目「家庭基礎」2 単位を履修している。生徒は授業で、学習内容に対して率直な意見を述べることはできている。更に知識を習得し活用させることで、思考を深化させていきたい。

#### 2 研究の目的

新しい学習指導要領では、基礎的・基本的な知識・技能を習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力などを育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養うため、言語活動の充実について示されている。言語活動の中核的な国語以外の教科についても教科の特性に応じた充実について示されている。

よって、教科「家庭」においても、これまでの言語活動を通じた指導を把握・検証し、家庭科の目標と指導事項の関連、生徒の言語能力の実態を踏まえた上で、言語活動を意図的、計画的に位置付けた授業の構成や指導の在り方自体の工夫改善が求められている。そして、それらをバランスよく配した年間計画へと発展させ、さらには、他の教科との関連や学年を越えた系統的で意図的、計画的な言語活動が実施されるようカリキュラムマネジメントを適正に行うことも求められている。そこで本稿においては、言語活動の充実を通して思考力・判断力・表現力を育成するため、構成や指導の在り方を工夫改善した授業について研究・実践することを目的とした。

### 3 研究の内容

#### (1) 実態把握とこれまでの実際

##### ア 本校生徒の言語能力などの実態について

自宅学習をしない生徒が40%以上もあり、自宅では宿題をする程度である(別添資料1グラフ1)。家庭での過ごし方は、読書や学習は5%未満で、90%程度がテレビ視聴やインターネットの閲覧、メール、趣味である(別添資料1グラフ2)。基礎力を図る校外のテスト結果では、国語(言語)に関しては、漢字や語句はできるが、短文の理解、現代文随筆が強化ポイントとして指摘されている。

また、板書されなくても大事なことはノートに記入することや自分の意見を人に説明することが得意ではない生徒は70%程度であり、実験や実習のまとめを文章で書くことや人前で発表することでは80%程度が得意ではないと答えている。自分の意見を文章に書くことが得意ではない生徒は90%を超えている(別添資料1グラフ3)。

以上のような実態に合わせ、言語活動の充実についての方策を考える必要がある。

##### イ これまでの授業実践について

平成17年の食育カルタの制作(写真1、写真2)では、食生活指針に基づき、五十音「あ」から「ん」までの頭文字で始まる読み句を考え、その内容に合うよう、イラストを描き、パソコンで処理し、複数作製し、グループごとに実際にカルタ取りを行い、小学生にも使ってもらった。この実践では、授業内でパソコンの処理がやりきれず、課外の作業が多く、関係生徒も限られてしまった。そこで平成19年は、授業内に、全体で行うことができるように、読み句を考え、絵を各自で描くようにした。ここでは食生活指針の理解とともに、児童文化財の製作をし、時間数が限られる中、複数分野わたる学習が同時にできることも狙いとしていた。平成21年には、食生活指針の理解と周知を目的とした標語作りに主眼を置くため、カルタの読み句という制限(頭文字が「あ」から「ん」まで全てそろわないといけない)を払い、コラージュで表現する方法を主とするポスターの制作を行うことにした。コラージュにより、描画が苦手でも手軽に楽しく取り組み、作業時間も短縮できた。

これまでの実践を生かして環境カルタ制作を行うことにした。生活に関わることをテーマとした標語を読み句とすれば、児童文化財の製作とテーマの複数分野の教材として汎用性もあるのではないかと考えた。食育カルタでの利点や改善点を見直し、授業研究を進めることにした。

#### (2) 授業実践

##### ア 食生活指針に基づく標語を配したポスター作り

##### (ア) 実践事例について

食生活指針(別添資料2)について学習し、その内容に基づいた標語を考えさせる。標語については、5・7・5を基本とし、その標語の内容をイラストやコラージュで表現させる。



写真1 食育カルタ



写真2 カルタ取り

(イ) 学習活動の概要について

1 実践事例 食生活指針に基づく標語を配したポスター作り

2 学習目標

健康な食生活のための指針となるような標語を考え、標語を配したポスターを制作し、食生活の充実向上に向けての考えを深める。

3 評価規準

〈関心・意欲・態度〉 食生活に関心をもち、ポスター制作を意欲的に取り込んでいる。

〈知識・理解〉 食生活指針について理解し、食生活を充実向上するための知識を身に付けている。

〈技能〉 食生活指針に基づく適切な標語ができる。  
標語にあったコラージュやイラストができる。

〈思考・判断・表現〉 食生活指針を基に、食生活について課題を見出し、その解決を目指して思考を深めている。

標語に適するように、写真の配置を考え、全体のバランスを工夫している。

4 指導方法の工夫について

(1) 標語を考えるため、食生活指針について理解を深めさせる。

(2) 図案の作製には、雑誌からのコラージュなどの技法を用いることにより、食に関する興味・関心を喚起させ、創意工夫した作業を行わせる。

(3) 学校祭での展示により、生徒や職員、来場者の方々への食生活指針についての周知や食の問題について考えさせることにつなげるとともに、制作の励みとする。

5 主な学習活動

(1) 題材の指導計画 (全2時間)

学習項目・ (時)	学習活動・(時)	言語活動に関する指導上の留意点
食生活指針 に基づく標 語を配した ポスター制 作(2)	1 食生活指針(0.5)	・学習した知識を生かし、創意工夫し、言語で構成した標語を考案させる。
	2 食生活指針標語ポ スター制作 制作のまとめ (1.5)	・標語や図案考案の際には、互いに話し合い、資料を活用し、アイデアや情報を交換させる。 ・実習を通して気付いたことを、実感をもって言葉で表現させる。 ・制作の意図や感想・反省を文章でまとめさせる。

## (2) 本時の展開

ア 健康な食生活や食生活指針について学んだ知識を確認する。

イ 健康な食生活のための標語ポスターの制作方法を知る。

ウ 標語を考え、プリントに記入し、点検を受ける。

エ ポスターに配する素材を集め、レイアウトなどを考える(写真3)。

オ 用紙に、標語、素材を配置したり、描いたりし、ポスターを制作する(写真4)。

カ 制作の意図などについてまとめる(別添資料3)。

6 言語活動を通して、思考力・判断力・表現力を育成するための手だて

### 【思考力・判断力・表現力等の学習活動の分類】

- ①体験から感じ取ったことを表現する。
- ②事実を正確に理解し伝達する。
- ③概念・法則・意図などを解釈し、説明したり活用したりする。
- ④情報を分析・評価し、論述する。
- ⑤課題について、構想を立て実践し、評価・改善する。
- ⑥互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させる。



写真3 素材を探す



写真4 ポスター製作

### (1) 標語作りの工夫(分類①より)

日常生活や体験的な学習の中で感じ取ったことを言葉や絵等を用いて表現させる。

### (2) ポスター制作の工夫(分類⑤より)

ポスター制作において、構想を練らせ、創作活動を行わせ、その結果を互いに評価させ、工夫・改善させる。

### (3) 発表の工夫(分類⑥より)

制作した作品について、意図を記述させる。全体を展示し、観賞し合うことにより、自分や周りの考えを発展させる(写真5)。



写真5 学校祭での展示

## 7 評価の観点(思考力・判断力・表現力)

(1) 日常生活や体験的な学習の中で感じ取ったことを言葉や絵などを用いて表現させることができたか。

(2) ポスターの制作において、構想を練り、創作活動を行い、工夫・改善させることができたか。

(3) 制作した作品の意図を記述し、全体を鑑賞し合い、自分や周りの考えを発展させることができたか。

## イ 環境カルタの制作

### (ア) 実践事例について

環境に調和した生活についての学習の一環として、環境カルタの制作に取り組みさせた。学習した内容や、新聞、テレビ、インターネットなどで見聞きしたことから環境に関する読み句を考える。読み句にあった絵札も制作させる。

### (イ) 学習活動の概要について

#### 1 実践事例

##### 環境カルタの制作

#### 2 学習目標

環境に調和した生活を送ることをテーマとした環境カルタを制作することで、持続可能な社会を目指してライフスタイルを工夫し、主体的に行動できるようにする。

#### 3 評価規準

〈関心・意欲・態度〉 環境負荷の少ない生活に関心をもち、読み句を考え、絵札の制作をしようとしている。

〈知識・理解〉 環境に調和した生活について理解し、充実向上のための知識を身に付けている。

〈技能〉 環境に調和した生活に応じたカルタの読み句や絵札の制作に必要な技術を身に付けている。

〈思考・判断・表現〉 環境についての課題を見出し、解決のため思考を深め、適切に判断し工夫して読み句や絵札を創造することができる。



図1 環境カルタ 生徒作品

#### 4 指導方法の工夫

(1) 環境に調和した生活を送ることを言語に表現した読み句を考えさせることにより、問題点やこれからの取り組みについて考えさせる。

(2) 読み句を基に、グループで協力して絵や図で表現した絵札を考えさせる（図1）。

(3) 完成した作品で、カルタ取りを行い、環境に関する意識を向上させる。

(4) 学校祭で展示することにより、自他の作品を鑑賞することで生活環境について考えを深めさせる。

(5) 人の暮らしに与える影響と向き合い、時節に応じた題材を取り上げる。

#### 5 主な学習活動

##### (1) 題材の指導計画（全2時間）

学習項目・ (時)	学習活動・(時)	言語活動に関する指導上の留意点
環境カルタ の制作（2）	1 読み句考案 （課題）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでに習得した知識を振り返り、創意工夫ができるようにさせる。</li> <li>・語彙や表現が豊かになるように考えさせる。</li> </ul>



	(別添資料4)	・適切な資料の収集ができるようにさせる。
	2 絵札制作 (1.5)	・読み句や図案考案の際には、互いに話し合い、資料を活用し、アイデアや情報を交換させる。
	3 カルタ取り (0.5)	・作品を実際に活用することを通して気付いたことを、実感をもって言葉で表現させる。 ・制作の意図や感想・反省を文章でまとめさせる。 ・作品の内容をテーマとした、ホームプロジェクトへと発展させる。

(2) 本時の展開

ア 環型社会と消費，これからの消費生活などについて学んだことを確認する。

イ 環境カルタの制作についての手順を知る。

ウ グループで相談し，教師に確認を受け，読み句を決定する(写真6)(別添資料4・5-①・②)。

エ 読み句に従い，絵札の作製をグループで行う(写真7，写真8)。

オ 制作の意図などについてまとめる(別添資料6)。



写真6 読み句を考える



写真7 輪郭を描く



写真8 彩色をする

6 言語活動を通して，思考力・判断力・表現力を育成するための手だて

【思考力・判断力・表現力等の学習活動の分類】

- ①体験から感じ取ったことを表現する。
- ②事実を正確に理解し伝達する。
- ③概念・法則・意図などを解釈し，説明したり活用したりする。
- ④情報を分析・評価し，論述する。
- ⑤課題について，構想を立て実践し，評価・改善する。
- ⑥互いの考えを伝え合い，自らの考えや集団の考えを発展させる。

(1) 読み句による表現の工夫(分類①より)

日常生活や体験的な学習の中で感じ取ったことを言葉や絵等を用いて表現させる(別添資料5)。

(2) カルタの絵札デザインの工夫(分類⑤より)

絵札制作において，構想を練らせ，創作活動を行わせ，その結果を評価させ，工夫・改善させる。

(3) 作品の説明や発表，発展の工夫(分類⑥より)

制作した作品について，意図を伝えあい，全体を展示し，観賞しあうことにより，自分や周りの考えを発展させる(写真9)。

読み句の内容をホームプロジェクトのテーマとして発展し，取り組ませる(設定テーマは自由で，

選択肢の一つとして提示した)。

## 7 評価の観点 (思考力・判断力・表現力)

- (1) 日常生活や体験的な学習の中で感じ取ったことを言葉や絵などを用いて表現させることができたか。
- (2) 絵札の制作において、構想を練り、創作活動を行い、工夫・改善させることができたか。
- (3) 制作した作品の意図を記述し、全体を鑑賞しあい、自分や周りの考えを発展させることができたか。



写真9 学校祭でのカルタ展示

ウ 発展学習として、ホームプロジェクトにおける環境カルタ読み句の実践と発表

環境カルタの読み句の内容をホームプロジェクトのテーマの一つとして提示し、夏休み中に、研究を行い、まとめさせた。本校においては、ホームプロジェクトは、テーマや内容の例示をした上で、自由テーマの課題とした(別添資料7-①・②)。発表は、簡易にまとめ、クラス内で発表するが、発表のための原稿ワークシートを作成し、記入させた(別添資料8-①・②, 9)。その後は、校内掲示をした(写真10)。



写真10 ホームプロジェクトの展示

エ シナリオによる男女共同参画社会への理解

### (ア) 実践事例について

シナリオを活用することにより、男女共同参画社会の実現を目指し、男女がともに家庭生活の責任を果たし、人間らしい生き方をするための課題を考える。

### (イ) 学習活動の概要について

#### 1 実践事例

シナリオによる男女共同参画社会への理解

#### 2 学習目標

男女共同参画社会の実現を目指し、男女が共に家庭生活の責任を果たし、人間らしい生き方をするための課題を考える。

#### 3 評価規準

〈関心・意欲・態度〉男女共同参画や社会と人のつながりについて関心をもち、意欲的に取り組んでいる。

〈知識・理解〉男女共同参画社会について理解している。

〈技能〉 男女共同参画社会について意見をまとめ、整理することができる。  
 〈思考・判断・表現〉 性別役割分業意識の見直しや、男女が協力して築く家族・家庭について考えを深めている。

#### 4 指導方法の工夫

- ・シナリオを読むことにより、性別役割分業意識や男女共同参画社会についての理解を深めさせる。
- ・シナリオを使ったロールプレイングを取り入れることにより、男女共同参画社会の在り方を考え、意見交換をさせる（別添資料10）。
- ・自分や家族に置き換え、家庭での在り方を考え、互いの意見も取り入れ、男女共同参画社会実現への課題を考えさせるきっかけとなるようにした。

#### 5 主な学習活動

##### (1) 題材の指導計画（全2時間）

学習項目・ (時)	学習活動・(時)	言語活動に関する指導上の留意点
これからの 家庭・社会 (2)	1 男女共同参画社会と家庭 (1.5) 2 地域社会の形成と家族・家庭(0.5)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活や体験の中で感じ取ったことを、言葉を用いて表現する。</li> <li>・文章や資料を読んだ上で、自分の知識や経験に照らし、自分の考えをまとめ、表現する。</li> <li>・問題において、意見を交換し、互いの考えを深める発表を取り入れる。</li> </ul>

##### (2) 本時の展開

- ア シナリオを読み、空欄のセリフに自分の言葉でセリフを書く（別添資料11）。
- イ シナリオを、配役を決めて読み合わせる。
- ウ シナリオ中のやりとりで反対だと思ったこと、賛成だと思ったこと、その理由などを話し合い、シナリオに書き込む。
- エ 意見交換をさせる。
- オ 全体のまとめをする（別添資料12）。

#### 6 言語活動を通して、思考力・判断力・表現力を育成するための手だて

##### 【思考力・判断力・表現力等の学習活動の分類】

- ①体験から感じ取ったことを表現する。
- ②事実を正確に理解し伝達する。
- ③概念・法則・意図などを解釈し、説明したり活用したりする。
- ④情報を分析・評価し、論述する。
- ⑤課題について、構想を立て実践し、評価・改善する。
- ⑥互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させる。

##### (1) ロールプレイングの工夫（分類①より）

シナリオを読んでいく中で、自分の置かれた環境の中で感じ取ったことを表現し演じさせる。

##### (2) シナリオの工夫（分類④より）

シナリオの内容から、自分の考えを話すセリフを設定し、具体的に表現させる。

内容について反対や賛成などの意見や感想などを記述させる。



(3) 意見交換の工夫（分類⑥より）

それぞれが考えたセリフや、内容に関する意見を発表させることを通して、自分や集団の考えを知らせ、課題について考える。

7 評価の観点（思考力・判断力・表現力）

- (1) シナリオを読み、表現し、演ずることができたか。
- (2) シナリオから自分の知識や経験に照らし、自分の考えを表現することができたか。
- (3) 互いの考えを伝え合い、自分の考えや集団の考えを発展させることができたか。

#### 4 授業実践の成果と今後の課題

これまでの言語活動や生徒の実態を把握した上で、言語活動を充実させた授業の研究を行い、実践した。実践していく中で思考力・判断力・表現力の育成ができたかの評価を行った。各実践で評価の観点を示したが、充分達成できたと言える。別添資料 13 に環境カルタの評価の4観点とワークシートの評価について示した。

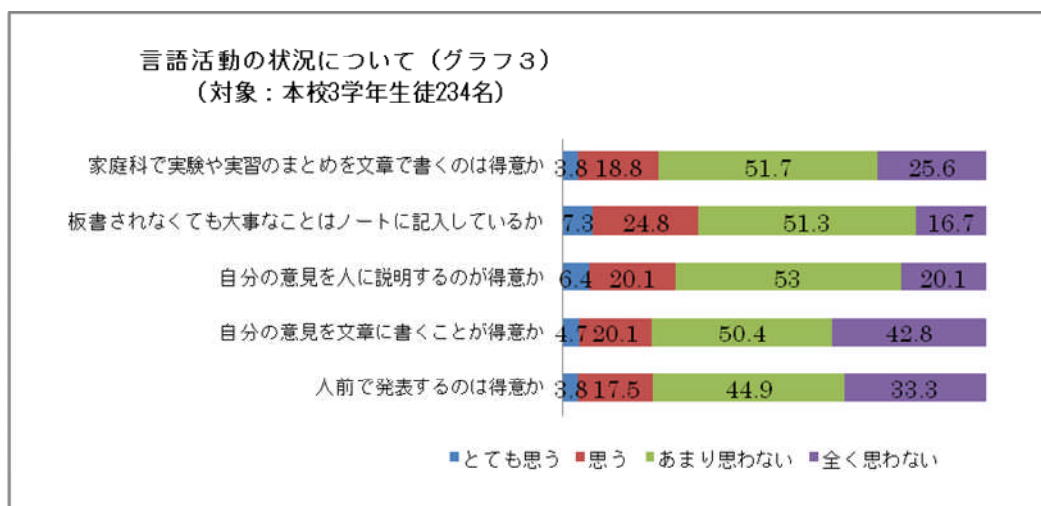
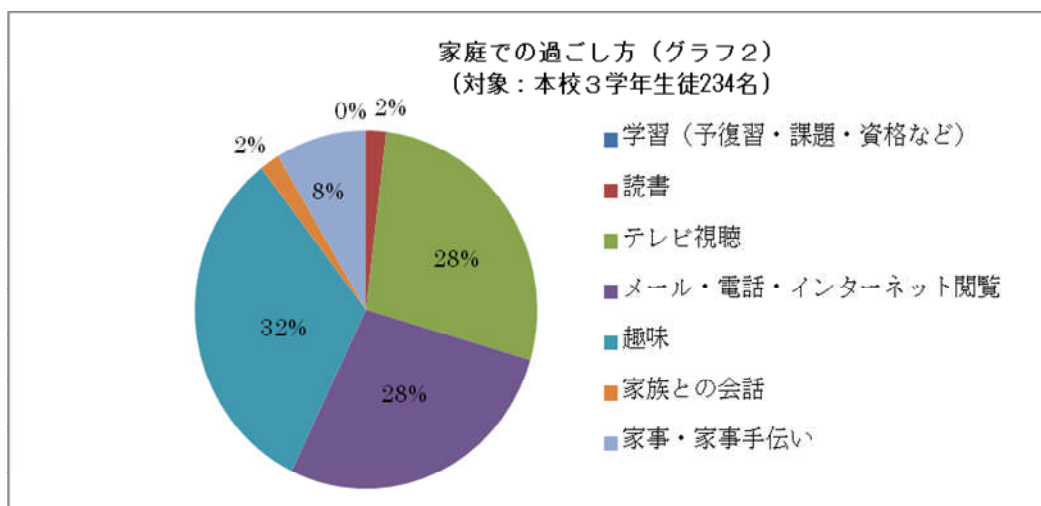
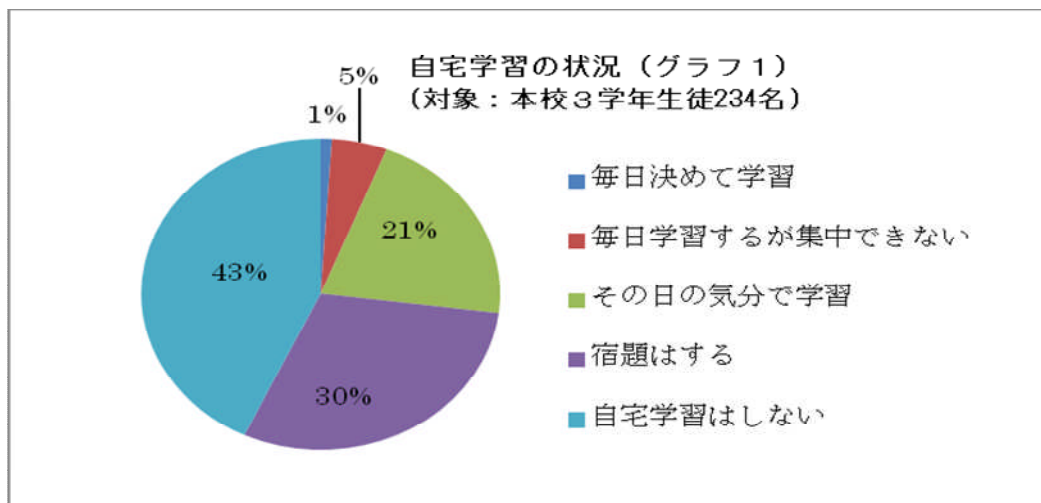
これからも様々な分野において言語活動を意図的に取り入れた授業の内容や構成、指導の在り方の工夫改善などについて研究・実践していきたい。今回取り上げたのは、食生活や環境、男女共同参画社会などであるが、少子化や消費者教育についても研究を進めていきたい。そして、新学習指導要領の示す、生活の中の様々な言葉を、実感をもって理解するための実践的・体験的な活動を行い、レポートの作成、考察、思考したことの発表などの学習活動の充実、生活における課題の問題解決的な学習の充実、インタビューや課題の把握、実験や調べ学習によって分かったことや考えたことをまとめ、発表し合い活用の仕方を考えるなどの学習を充実させていきたい。そして、言語活動を通じた思考力・判断力・表現力の育成のため、それらをバランスよく位置付けた年間の指導計画へと発展させたい。さらに、他の教科との関連や学年を越えた系統的で意図的、計画的な言語活動実施のためのカリキュラムマネジメントが適正に行われるよう校内で連携をしていきたい。

#### 〈参考・引用資料〉

『中央教育審議会答申』 2008年1月発表

『高等学校学習指導要領』 文部科学省 2009年3月告示

『高等学校学習指導要領解説家庭編』 文部科学省 2010年5月



**食生活指針** (平成 12 年 3 月 厚生労働省, 農林水産省, 文部科学省が共同策定)

### 食事を楽しみましょう

- 心とからだにおいしい食事を、味わって食べましょう
- 毎日の食事で、健康寿命をのばしましょう
- 家族の団らんや人との交流を大切に、また、食事づくりに参加しましょう

### 1 日の食事のリズムから、健やかな生活リズムを

- 朝食で、いきいきとした 1 日を始めましょう
- 夜食や間食はとりすぎないようにしましょう
- 飲酒はほどほどにしましょう

### 主食、主菜、副菜を基本に、食事のバランスを

- 多様な食品を組み合わせてみましょう
- 調理方法が偏らないようにしましょう
- 手作りや外食や加工食品・調理食品を上手に組み合わせてみましょう

### ごはんなどの穀類をしっかりと

- 穀類を毎食とって、糖質からのエネルギー摂取を適正に保ちましょう
- 日本の気候・風土に適している米などの穀類を利用しましょう

### 野菜・果物、牛乳・乳製品、豆類、魚なども組み合わせて

- たっぷり野菜と毎日の果物で、ビタミン、ミネラル、食物繊維をとりましょう
- 牛乳・乳製品、緑黄色野菜、豆類、小魚などで、カルシウムを十分とりましょう

### 食塩や脂肪は控えめに

- 塩辛い食品を控えめに、食塩は 1 日 10g 未満にしましょう
- 脂肪のとりすぎをやめ、動物、植物、魚由来の脂肪をバランスよくとりましょう
- 栄養成分表示を見て、食品や外食を選ぶ習慣を身につけましょう

### 適正体重を知り、日々の活動に見合った食事量を

- 太ってきたかなと感じたら、体重を量りましょう
- 普段から意識して身体を動かすようにしましょう
- 美しさは健康から。無理な減量はやめましょう
- しっかりかんで、ゆっくり食べましょう



- 地域の産物や旬の素材を使うとともに、行事食を取り入れながら、自然の恵みや四季の変化を楽しみましょう
- 食文化を大切にして、日々の食生活に活かしましょう
- 食材に関する知識や調理技術を身につけましょう
- ときには新しい料理を作ってみましょう

### 調理や保存を上手にして無駄や廃棄を少なく

- 買いすぎ、作りすぎに注意して、食べ残しの少ない適量を心がけましょう
- 賞味期限や消費期限を考えて利用しましょう
- 定期的に冷蔵庫の中身や家庭内の食材を点検し、献立を工夫して食べましょう

### 自分の食生活を見直してみましょう

- 自分の健康目標をつくり、食生活を点検する習慣を持ちましょう
- 家族や仲間と、食生活を考えたり、話し合ったりしてみましょう
- 家族や家庭で食生活の正しい理解や望ましい習慣を身につけましょう
- 子どものころから、食生活を大切にしましょう

### 食文化や地域の産物を活かし、ときには新しい料理も

(記入例)

【別添資料3】

クラス番号 ○○○○ 氏名 ○○ ○○

制作の意図

① もととなる食生活指針

食事を楽しみましょう。

② 標語

楽しいな,家族そろって 晩御飯

③ 何を表現しているか

家族が食卓を囲んで団らんしているところ  
おいしい食事を楽しんでいるところ

④ よくできたところ

家族の団らん風景のいい写真が見つかり,うまく配置  
できた。  
文字を温かい雰囲気になるようにできた。

⑤ 工夫したところ・苦労したところ

ぴったりの写真が見つかるためたくさんの雑誌を探し  
努力した。バランスよく配置することが難しかった。  
日本の食卓の温かさをだすよう筆ペンを使って標語を  
書いた。

⑥ アピールしたいこと

みんなで食卓を囲んで団らんすることの大切さと楽  
しく食事をするための大切さ

クラス番号

氏名

制作の意図

① もととなる食生活指針

② 標語

③ 何を表現しているか

④ よくできたところ

⑤ 工夫したところ・苦労したところ

⑥ アピールしたいこと



## 環境カルタ

環境に関する標語（規定された音で始まること）を2つ書き,その内容を絵で示しなさい。\*2つの標語は違う音で始まること。

行	あ行	か行	さ行	た行	な行	は行	ま行	や行 わ・ん	ら行
出席 番号	1 ~ 5	6 ~ 10	11 ~ 15	16 ~ 20	21 ~ 24	25 ~ 28	29 ~ 32	33 ~ 36	37 ~ 40

例) 各クラスの11番~15番は,か行の「か,き,く,け,こ」のどれかで始まる音で標語を考える。

標語	標語
絵	絵

クラス番号

氏名

## 環境カルタ読み句 生徒作品

のため の ド リ ン グ は 誰 の た め	なが 長 す ぎ る ア イ の た め	だ め で す よ ポ イ 捨 て せ ず に 持 ち 帰 ろ う	ぬ 抜 い て い こ う し し あ た り 主 電 源 か ら	かんが 考 え て 今 の せいかつ 生 活 無 駄 だ ら け	アルミ缶ゴミ にするより リサイクル
大切に 大 切 に	たいせつ 大 切 に	ちきゅう 地 球 保 護 小 さ な 一 歩 で 世 界 が 変 わ る	しろ 白 い 雲 き れ い な 海 を 守 り た い	きれいな町に きれいな心 きをつけて	いりません その一言が 大切だ
洗濯に 洗 濯 に	せんたく 洗 濯 に	つか 使 わ な い 電 気 は す ぐ に 消 し ま し よ う	すてき 素 敵 だ ね 地 球 に や さ し く で き る 人	くふう 工 夫 し よ う 出 て き た ゴ ミ の 捨 て 方 を	美しい きれいな町を つ
確認しよう 確 認 し よ う コ ン セ ン ト	ね 寝 る 前 に か く に 確 認 し よ う コ ン セ ン ト	で 出 た ご み は し つ か り 分 け て 捨 て ま し よ う	せんたく 洗 濯 は ふ ろ の 残 り 湯 使 い ま し よ う	け 消 し て お こ う む し ん 無 人 の 部 屋 の 蛍 光 灯	エアコンの設 定温度は適温 に
残したい れ い な 自 然 子 や 孫 に	のこ 残 し た い き れ い な 自 然 子 や 孫 に	とくべつ 特 別 な こ と を す る よ り 電 気 消 そ う	その冷房一 人のために フル稼働	コンセント プラグを抜い て 節電です	お出かけに 車じゃなくて 自転車を

<p>だ 然<small>ん</small>の緑<small>みどり</small> 必要<small>ひつよう</small> 忘<small>わす</small>れたの自<small>し</small>己<small>じ</small></p>	<p>省<small>しょう</small>エネに ライト消<small>け</small>し 明<small>あか</small>るいと<small>とき</small>は</p>	<p>や<small>つ</small>てみ<small>よう</small> 地球<small>ちきゅう</small>のため エコライ<small>フ</small></p>	<p>真<small>まな</small>夏<small>なつ</small>日はス イカを食<small>た</small>べて 夕<small>ゆう</small>涼<small>すず</small>み</p>	<p>始<small>はじ</small>め<small>よう</small> 自<small>じ</small>己<small>じ</small> 分<small>ぶん</small>のサイ<small>ズ</small>で エコライ<small>フ</small></p>
<p>く<small>ん</small>? タバコ 環<small>かん</small>境<small>きょう</small>にはよ く<small>な</small>いよ</p>	<p>リサイ<small>クル</small> 一<small>ひとり</small>人<small>ひと</small>ひ<small>と</small>りの 心<small>こころ</small>が<small>け</small></p>	<p>ゆ<small>つ</small>くりと 壊<small>こわ</small>れてい<small>く</small>よ 地球<small>ちきゅう</small>が<small>ね</small></p>	<p>見<small>み</small>てい<small>ない</small> テ レビは消<small>け</small>そう 無<small>む</small>駄<small>だ</small>はダ<small>メ</small></p>	<p>暇<small>ひま</small>あ<small>れば</small> 電<small>でん</small>し<small>よう</small> 日<small>ひ</small>のため 明<small>あす</small>節<small>せつ</small></p>
	<p>留<small>る</small>守<small>す</small>中<small>ちゆう</small>は待<small>たい</small> 機<small>き</small>電<small>でん</small>力<small>りき</small> オ<small>フ</small> に<small>し</small>し<small>よう</small></p>	<p>世<small>よ</small>の中<small>なか</small>の環<small>かん</small> 境<small>きょう</small>少<small>すく</small>し 変<small>か</small>え よ<small>う</small>か</p>	<p>無<small>む</small>理<small>り</small>じ<small>や</small>ない 車<small>くるま</small>使<small>つか</small>わ<small>ず</small> エ コライ<small>フ</small></p>	<p>古<small>ふる</small>新<small>しん</small>聞<small>ぶん</small> 紙<small>し</small>す<small>れば</small> 再<small>さい</small>生<small>せい</small> 回<small>かい</small>収<small>しゆう</small></p>
	<p>レ<small>ッ</small>ツ<small>ッ</small>ト<small>ライ</small> み<small>ん</small>な<small>で</small>や<small>ろ</small> う ゴ<small>ミ</small>分<small>ぶん</small>別<small>べつ</small></p>		<p>面<small>めん</small>倒<small>たう</small>な ゴ<small>ミ</small> の分<small>ぶん</small>別<small>べつ</small> エ<small>コ</small> のた<small>め</small></p>	<p>ペ<small>ット</small>ボ<small>トル</small> 再<small>さい</small>生<small>せい</small>し<small>たら</small> お<small>よう</small>洋<small>みん</small>服<small>ふく</small></p>
	<p>浪<small>ろう</small>費<small>ひ</small>量<small>りやう</small> み<small>ん</small> な<small>で</small>減<small>へ</small>ら<small>せ</small>ば L<small>ow</small> W<small>att</small>電<small>でん</small>量<small>りやう</small></p>		<p>も<small>う</small>1<small>ど</small> そ の指<small>ゆび</small>動<small>うご</small>け<small>ば</small> E<small>co</small>活<small>かつ</small>動<small>どう</small></p>	<p>ポ<small>イ</small>捨<small>す</small>て<small>は</small> し<small>て</small>は<small>い</small>け<small>な</small> い決<small>き</small>まり<small>ごと</small></p>





## ホームプロジェクトの実施記録

テーマ		
テーマ設定の理由		
実施期間	年 月 日 ~	年 月 日
実施計画		予定時間
		予定経費
		実践記録
自己評価・反省		所要時間
		所要経費
		家族の評価
先生の評価		
次の課題への発展		

クラス番号

氏名

月 日提出

## 家庭科夏休み課題

- ・ 以下のようなテーマ例を参考にし,夏休み中にホームプロジェクトをしなさい。

### テーマ例

- 「ゴミの中身を調べて,減量の工夫をしよう」  
食料品(調理ゴミや食べ残し,手つかず食品),容器,包装材,日用品,その他などに分け,内容や量を調べてみよう。1週間以上 量は重量で
- 「不要品を变身させよう」  
ジーンズやトレーナーなど,着なくなった衣類をリメイクしてみよう。  
牛乳パックなどを活用して日用品を製作してみよう。製作した作品は提出すること。
- 「子ども番組を見てみよう」  
日頃子どもに触れる機会が少ないので,子どものイメージを具体的にもとう。  
番組名,内容を記述すること。
- 「保育体験をしてみよう」  
身近に子どものいる人は一緒に遊んだり,世話をしたりしてみよう。  
子どもの年齢,性別,人数など記述すること。
- 「食事バランスガイドによる食事調べをしてみよう」  
1週間行い,問題点を改善し,さらに1週間行うこと。
- 「料理を作ってみよう。または加工食品貯蔵食品作りに挑戦してみよう」  
写真を撮って添付すること。
- 「生活に関する新聞記事を探して読んでみよう」  
記事の切り抜きを添付すること。  
思ったことや記事のようなことが起こる背景を考えてみよう。
- 「大掃除をしよう。自分の部屋だけでなく,普段しない所の大掃除を工夫してやってみよう」  
掃除前,掃除後の様子を写真を添付する。
- 「時間の使い方を工夫しよう」
- 「挑戦しよう ～グリーンコンシューマ～」
- 「環境家計簿で省エネチェックしよう」
- 「高齢者から学びましょう」
- 「美しく機能的な収納を目指しましょう」
- 「環境カルタの標語を実践しよう」  
標語の内容を具体的に実践してみよう。

## ホームプロジェクトの発表読み原稿

①はじめ	( )番( )です。これから、ホームプロジェクトの発表をします。
②テーマ	テーマは「 」です。
③テーマ設定の理由	テーマ設定の理由は、「 」です。
④実施期間	実施期間は、( )月( )日から( )月( )日の( )日間です。
⑤実施計画 1 いつ 2 どこで 3 なにを 4 どうする	実施計画は、
予定時間・予定経費	以上で、予定時間は、( )時間、予定経費は( )円です。
⑥実践記録 1 いつ 2 どこで 3 なにを 4 どうした	実施記録は、
所要時間・所要経費	以上で、所要時間は、( )時間、所要経費は( )円でした。
⑦自己評価・反省	・「 」がよかった(できた)と思います。 ・「 」がよくなかった(できなかった)と思います。 ・反省は、もっと「 」だとよかったと思います。 ・この課題で、「 」がためになりました。
⑧家族の評価	家族の評価は、「 」でした。
⑨次の課題への発展	次は、「 」が、課題なので、「 」について取り組んでみたいと思います。
⑩終わり	以上で、発表を終わります。何か質問はありませんか。

クラス番号

氏名

月 日提出

## 実施計画・記録の記入例

<p>⑤実施計画(例)</p> <p>1 いつ 2 どこで 3 なにを 4 どうする</p>	<p>(調理名)の調理</p> <p>1 献立決め    2 レシピしらべ 3 材料購入    4 調理 5 試食        6 評価</p> <hr/> <p>保育体験</p> <p>1  いつ,どこで,誰とどんなふうにするか。 2  準備するものを用意 3  実施 4  評価</p> <hr/> <p>子ども番組</p> <p>1  番組調べ    2  番組決め 3  視聴        4  評価</p>	<p>リメイク</p> <p>1  リメイクするものを決める 2  どのようにリメイクするか決める。 3  材料集め        4  製作 5  使用            6  評価</p> <hr/> <p>新聞記事</p> <p>1  新聞記事を探す。 2  読んで,まとめる記事を決める。 3  思ったことや,記事のようなことが起きる背景を考え,まとめる。    4  評価</p> <hr/> <p>大掃除</p> <p>1  日程,場所決め    2  道具,用具準備 3  掃除実施        4  評価</p>
<p>⑥実践記録</p> <p>1  いつ 2  どこで 3  なにを 4  どうした</p>	<p>夏野菜の調理</p> <p>1  献立決め 2  インターネットでレシピを調べた。 3  在庫の材料を確認し,足りないものはスーパーで材料を購入した。 4  調理(作り方を記入) 5  試食(出来たもの,試食の様子を写真) 6  夏野菜を使っていろいろな料理が,美味しくできた。</p> <hr/> <p>保育体験</p> <p>1  いつ,どこで 誰を,どんなふうにした。 2  子どもの好きなメニューを調べ,材料を用意した等。 3  外遊びでは,～で遊んだ。家では,～遊びをした。子ども向けの料理を作った。昼寝をした。お風呂に入って,髪や体を洗ってあげた。等など 4  楽しく過ごすことができたが,元気で疲れた。親にも喜ばれた等。</p> <hr/> <p>子ども番組</p> <p>1  様々な子ども向け番組を調べた。 2  記録する番組を決めた。 3  視聴した。 4  子どもの気持ちになって,感想を考える。子どもの頃のことを思い出して,今の自分との比較。</p>	<p>リメイク</p> <p>1  あまり着ていないTシャツをリメイク 2  染色,刺繍のワッペン付け。 3  染料,ワッペンを他の服から取る 4  製作 5  着装 着た写真など 6  来ていなかったTシャツが,おしゃれなものになった。</p> <hr/> <p>新聞記事</p> <p>1  新聞記事を毎日読み,生活に関する記事を探した。 2  まとめる記事を決め,切り抜いた。 3  記事について   内容の要約  思ったこと,感じたこと,自分だったらどうか,社会背景は何かなど記述する。 4  評価</p> <hr/> <p>大掃除</p> <p>1  いつ,どこをどのようにするかを決めた。 2  掃除の用具を整えた。 3  清掃を実施。どんな段取りでどのようにやったか。工夫した点は何か。(前後の写真) 4  大変だったところ,よくできた点など記述,評価する。</p>



ホームプロジェクトの実施記録

テーマ 環境カルタの標語を実践 片方の「マイライフ 我が家にはすべて エコ」を実践

テーマ設定の理由

少しでも家の使用電力を抑えたかったから。

実施期間 2011年7月21日～2011年8月31日

実施計画

- ・今年の夏休みをクーラーを付けずに乗り切る。
- ・冷蔵庫の中にカーテンを付けて冷気が出るのを防ぐ。
- ・ベランダにシェードを付けて、室内の温度を下げる。
- ・窓のカーテンの素材を熱と視外線を通しにくい素材に変える。
- ・実際にトマトの苗を4本植えて、まっすぐ茎が育つ様にひもで吊してグリーンカーテンを作る。

予定時間

予定経費

実践記録



エアコンのフィルター



冷蔵庫のカーテン



外から見たシェード



中から見たシェード

・室内に居て直射日光が当たる事がなくなり、体感温度が低くなった。  
 ・すべての実施計画を実践していない時と、している時と比べると消費電力が50kWも減っていました。



熱と視外線を  
通しにくいカーテン



ベランダのグリーンカーテン

自己評価・反省

この計画を実践して、17日風が吹いている時の幸せを感じる事が出来ました。この結果を切掛けにこれからも続けていきたいと思ひます。

家族の評価

我が家なりの節電を考えた家族が協力しながら取り組むことができました。クーラーに頼らない生活をする事が工夫して暑さを乗り切る事ができたと思ひます。

先生の評価

いろいろ対策すると、効果があらわれるのですね。い、これからは工夫して対策を777いって下さい。

次の課題への発展

大掃除で整理整頓をする軒気を付けたいと思ひます。

検

## シナリオで読むジェンダー

クラス番号                      氏名

(1) 登場人物      ハル (男性), ナツ (女性)

(1組の男女が公園で休憩をとっている。)

ハル      今度の金曜の夜, 空いてる?

ナツ      うん,大丈夫だと思うけど 何?

ハル      食事しようよ。

ナツ      いいけど 最近残業が多くなっているから遅くなるかも。

            そういえば,山田さん,来月結婚するから辞めるみたい。忙しくなるわ。

ハル      え?あの山田さん,結婚するの。

ナツ      そう。仕事を辞めるなんてもったいない。

ハル      仕事ができる人だしね。

ナツ      そう思った人多いみたい。でも辞めるらしいよ。相手は一流会社のエリートみたいよ。

ハル      へー。そりゃあ仕事続ける必要ないよな。

ナツ      そうかしら,好きな仕事だったら続けたっていいじゃない?

ハル      もったいないよ,せっかくカネとヒマがあって,優雅に暮らせるのだから。

ナツ      なによ,もしあなたの相手が会社の社長さんだったら仕事辞めるの?

ハル      ああ,いいなあそういうの。でも家にいても暇でつまらないかなあ。

ナツ      そういう場合,あなたが家事や育児を担当するに決まっているでしょ。

ハル      だめだめ,無理だよ。家事なんてできないよ。

ナツ      困った人ね,世の中の女性は,仕事したって家事も育児もしているわ。

ハル      すごいよね,でも僕は男だから。家事はしないよ。

ナツ      私はどうしようかな。仕事も続けたいし,結婚もしたいし,仕事は嫌いじゃないけど,どうして  
もってことはないし。

ハル 仕事していいよ、僕、給料安いし、君が働いてくれたら少しは家計の足しになるだろう。

ナツ 何？それ誰と誰が結婚する話？

ハル そりゃあ、君と僕に決まっているだろう。今度話そうと思ったけど、流れで言っちゃったなあ。

ナツ 冗談でしょ。あなた、家事も育児も無理って言ったわよね。仕事していいなら、誰が家事をするの？

ハル 家事は君でしょ。大変だったら仕事は辞めていいよ。

ナツ あら、今度は辞めてもいいって？どうしてあなたに指示されなきゃいけないの？

ハル だって僕は主人になるんだよ。当たり前じゃないか。

ナツ へー男のほうが上なの？男も女も外で仕事して、それで家事や育児は女の仕事なの？

ハル どの家庭でもそんなものだろ？

ナツ あなたはどこにでもある家庭を作りたいの？だったら私でなくてもいいじゃないの。

ハル 僕は君と結婚したいんだよ。

ナツ なら、本気で私の気持ちを考えてほしいな。結婚しても仕事は続けるわ。だから家事は半分ずつ、家計も割り勘にしましょう。

ハル え？ちょっと待って。僕本当に料理も洗濯も掃除も家事ってできないし。

ナツ 私だってそんなにできないわ。ずっと仕事してきて、家事は親に任せっきりだし。家事代行を頼めば時給にして1,000円くらいかな。労働時間は1日最低4時間くらいかしら。土日はもっと増えるかも。

ハル そんな、なにも業者に頼まなくても。

ナツ 夜8時以降だと追加料金を請求されるかも。家計に重くのしかかるわね。

ハル だったら家事を半分ずつ自分たちでやったらいいのかな。

ナツ でもあなた何も出来ないんでしょ。

ハル ( )

ナツ ( )

(2) 登場人物 父 母 太郎

(母が夕食の支度をしている)

母 太郎,ちょっと手伝って。

太郎 なんで?いやだよ。男は料理なんてしなくていいんじゃないの。

母 料理に男も女もありません。男性も家事をするのよ。

太郎 だって父さんはしないじゃないか。

母 私は会社へ働きに行っていないし,私が家事をすればいいの。そんなこと言わずに手伝いなさい。

太郎 ずるいな。姉ちゃんがやればいいんだよ。女だし。

お手伝いしたら,お小遣いくれる?欲しいものがあるんだ。

母 また?だめよ。

太郎 お願いだよ。

母 困ったわね。お父さんに聞いてみなさい。

(父に向って) なんでも欲しいものをすぐ買ってもらえるなんて,よくないわよね。それに私は家計のやりくりが大変なのよ。私だって買いたいものも我慢しているのに。少ない給料の中でやりくりしているのに。だいたいあなたのパチンコやタバコ代にいくらかかっていると思っているの。

太郎 お父さん,お手伝いしたら,お小遣いもらってもいい?

父 ( )

太郎 うちのお金はお父さんが仕事をして稼いでくる。それをお母さんがやりくりして……………お母さんも働いていけばいいのかな。共働きでは大変かも。結婚相手の給料が多ければ,自分が仕事をするより,専業主夫になるのも悪くないかも……………。

父 ( )

母 ( )

演 習

1) 配役を決めて,シナリオを音読しよう。

2) シナリオ中に記述しよう。

① 会話の中の( )に自分だったらどのように言うか。

② 会話の中で賛成だと思ったところに赤で下線を引き,なぜ賛成なのか。

③ 会話の中で反対だと思ったところに青で下線を引き,なぜ反対なのか。

3) 感想を書こう。



## (3) 登場人物 父 母 太郎 (賛成は赤 反対は黒)

## 記入例

	(母が夕食の支度をしている)	男も女も関係なく料理をする。
母	太郎,ちょっと手伝って。	
太郎	なんで?いやだよ。男は料理なんてしなくていいんじゃないの。	
母	料理に男も女もありません。男性も家事をするのよ。	
太郎	だって父さんはしないじゃないか。	共働きと関わりなく,協力すればいい。
母	私は会社へ働きに行っていないし,私が家事をすればいいの。そんなこと言わずに手伝いなさい。	
太郎	ずるいな。姉ちゃんがやればいいんだよ。女だし。お手伝いしたら,お小遣いくれる? 欲しいものがあるんだ。	
母	また?だめよ。	お手伝いに男女はない。 お手伝いに代償を求めるのは?
太郎	お願いだよ。	
母	困ったわね。お父さんに聞いてみなさい。	すぐ買ってもらえたら,我慢できない子になる。
	(父に向って) なんでも欲しいものをすぐ買ってもらえるなんて,よくないわよね。それに私は家計のやりくりが大変なのよ。私だって買いたいものも我慢しているのに。少ない給料の中でやりくりしているのに。だいたいあなたのパチンコやタバコ代にいくらかかっていると思っているの。	お父さんも,浪費しないように,協力すべき。 少ない給料なんて,言うべきではない。
太郎	お父さん,お手伝いしたら,お小遣いもらってもいい?	
父	(お父さんも手伝うよ。一緒にやろう。お小遣いの額は決まっているだろう?ちゃんと考えて使えよ。お父さんもパチンコやタバコを控えなくっちゃな。)	
太郎	うちのお金はお父さんが仕事をして稼いでくる。それをお母さんがやりくりして・・・お母さんも働いていればいいのかな。・・・共働きでは大変かも。・・・結婚相手の給料が多ければ,自分が仕事をするより,専業主夫になるのも悪くないかも・・・	相手の収入が目的で結婚するようだ。
父	(これからは,お母さんが忙しいときは手伝ったりするから,太郎も花子もお母さんを助けてあげなさい。)	
母	(助かるわ。みんなが手伝ってくれたら,仕事にも出かけられるわね。これからどんどんお金がいるようになるから。家族のために働きたいわ。もちろん,自分のやりがいにもなるわ。)	

## 感想ワークシート シナリオ( )

記入例

1) 次の空欄に思いつくことを記述してみよう。

思ったこと 感じたこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家事は、女の人だけがするものなのか。</li> <li>・太郎は、手伝ってあげればいいのに。</li> <li>・お父さんも、パチンコやタバコばかりやっていていけないのではないかな。</li> <li>・お母さんも、もっと上手に言えばいいかな。</li> </ul>
自分だったらどうか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手伝いは、面倒だからやりたくない。</li> <li>・他の人が手伝えばいいと思う。</li> <li>・でもお母さんばかりが家事を忙しくするのはどうかと思う。</li> <li>・お小遣いは、決まった中でやりくり出来ないと破産人になってしまう。</li> </ul>
他の人の意見で思ったこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手伝いをやりたくないという意見はどうかと思った。</li> <li>・お小遣いは、足りなかったら働けばいいという考えもある。</li> <li>・家のことは女の人がやるのが当然で、母が出来なかったら彼女にやってもらうという考えでは、女子はどう思うのかなと思った。</li> </ul>
これからどうしたいか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・料理は覚えて、できるようになりたい。</li> <li>・家のことはみんなで協力できたらいい。</li> <li>・将来は、いろいろ協力してやっていきたい。</li> </ul>

2) 1) で記述したことをまとめてみよう。

感想	<p>このシナリオを読んで、家事は誰がするものなのかと考えました。母親がするものだと思っていたのですが、手伝って協力することも大事だと思いました。</p> <p>お父さんも、家のためにいろいろ考えてお金を使わなければいけないと思います。お母さんも、家族に要望をきちんと説明して言えば分ってもらえるのではないかと思います。このシナリオを自分に置き換えると、家の手伝いは面倒だし、自分のことで忙しいのであまり出来ていません。他の人がすればいいと思っています。でも母ばかりが、全部やっているのは大変だと思います。やってみると結構たいへんなので、皆が手伝うのがいいと思います。これからは、家のことを皆で協力してやっていきたいと思います。でもこのことは自分が思うだけではなく家族みんなが心掛けないといけないのです。そして、将来自分が家庭をもったときも、協力してやっていきたいと思いました。</p>
----	---

クラス番号

氏名

	関心・意欲・態度	知識・理解	技能	思考・判断・表現
A 十分満足	意欲的に読み句を考案し、絵札作り取り組んだ。	環境に調和した生活の理解や、環境の充実向上のための基礎的・基本的な知識を十分身に付けている。	カルタの絵札をきれいに仕上げる事が出来た。	環境についての課題を見出し、解決を目指した読み句を考案した。読み句に最適な絵札になるように工夫した。
B おおむね満足	読み句や絵札の制作に、指示通り取り組むことができた。	環境に調和した生活の理解や、環境の充実向上のための基礎的・基本的な知識を身に付けている。	カルタの絵札を条件通り仕上げる事ができた。	条件に合った読み句を考案した。絵札は、参考資料から選び使用した。
C 努力を要する	読み句、絵札制作には、集中して取り組めなかった。	環境に調和した生活の理解や、環境の充実向上のための基礎的・基本的な知識の習得が不十分である。	絵札の彩色などの完成度が低い。	環境についての課題の解決から外れた読み句だった。絵札は、読み句の内容と合っていない。

環境カルタのワークシートの評価

クラス番号	氏名
カルタの読み句 コンセント プラグを抜こう エコのため	
製作の意図（読み句や絵札で表現したこと、アピールしたいこと） 省エネ、省電力のため、コンセントからプラグをこまめに抜くことを知らせたい。電化製品が動いていなくても消費される電力は無駄だからなくしていきたい。	
感想・反省	
① よくできたところ ・ 標語を条件に合う「5」「7」「5」で、環境を意識した内容で仕上げる事ができた。 ・ 標語に合ったイラストを考える事ができた。 ・ 友達に標語やイラストについてアドバイスする事ができた。	
② 工夫したところ・苦労したところ ・ 「こ」から始まる標語を考えるのが難しかった。 ・ 待機電力を使わずに電力を無駄にしないようにしたいと考えて標語にすることができた。 ・ 標語に合うイラストを考えるのに、時間がかかった。 ・ 大きくてわかりやすい絵になるように気を付けた。	
③ 反省点 ・ イラスト例をもっといろいろ調べるとよかった。 ・ 色を塗るのをもっと丁寧にやればよかった。	

A：・循環型社会や環境問題について考え、読み句をよく工夫している。  
・絵札のイラストが読み句に合うように非常に表現されている。

B：・規定通り（5・7・5）の文字数で読み句を作成した。  
・絵札のイラストが読み句に合うように、表現されている。

C：・読み句は完成できたが、やや文字数に過不足がある。  
・読み句とイラストが合っていない。

A：制作の意図を複数挙げ、説明できる。環境の課題を見出し、解決を目指した工夫がある。

B：制作の意図を挙げ、説明できている。

C：作品づくりの感想に留まっている。